

広報 三重地域センター 令和8年6月号

長崎市役所 三重地域センター R8.5.21 No.62号
〒851-2204 長崎市三重町1098番地1
業務時間 平日8:45~17:30
電話 095-850-1111
FAX 095-840-1001
E-mail:br_mie@city.nagasaki.lg.jp



三重地域センター管内人口19,394人(男9,421人 女9,973人)8,637世帯(令和8年4月末現在)

長崎市表彰おめでとうございます！

4月1日、出島メッセにおいて長崎市表彰式が開催され、さまざまな分野で多年にわたり市政の発展に貢献された方々が表彰されました。

三重地域センター管内では野本英世様が市政功労表彰を受賞されました。野本様は昭和59年に長崎市消防団第41分団に入団。40年以上にわたり消防団員を務められ、現在は長崎市消防団副団長（三重地区本部）を務めておられます。長年にわたる地域防災に関する功績が評価されての受賞となりました。ご本人より「今回の受賞は家族、消防団員、自治会の理解と協力があってこそだと思います。これからも新入団員の確保と後進の育成に努めていきます」とのコメントをいただきました。

この度のご受賞、誠にありがとうございます。



野本 英世 様

長崎市少年補導委員永年勤続表彰

4月25日、長崎市役所において長崎市少年補導委員の辞令交付式と表彰式が行われました。三重地区からは宗英治様が10年以上務められた永年勤続者として表彰されました。また、このたび退任された入江和義様、浦英二様、河上務様に感謝状が贈られました。

長年にわたり、地域の子どもの非行防止と健全育成に取り組んでいただき、たいへんありがとうございました。



鳴見台、三重、畝刈小学校区の各まちづくり協議会が令和8年度事業計画を決定

4月から5月にかけて各小学校区まちづくり協議会が総会を開催し、令和7年度事業の報告及び決算、令和8年度事業計画及び予算がそれぞれ承認されました。

鳴見台小学校区コミュニティ協議会では、組織の見直しが行われ、今年度から一部部会制及び実行委員会の体制がとられます。今後更に地域の方々幅広い参加が期待されます。

〇令和8年度の主な事業

※ほかにも様々な取組が計画されています

三重小学校区まちづくり協議会

(メール: mie.machidukuri@gmail.com)

課題	ねらい	事業名
ごみやポイ捨てが多く景観が損なわれている	地域と小学校が一緒になって豊かな自然と美しい景観を守り次世代へ引き継ぐ	海岸清掃
農業の担い手不足耕作放棄地の拡大	子ども達に農業の大切さ、楽しさを伝え、農業に携わるきっかけをつくる	農業体験 (コマ作り、イモ作り)
独居高齢者等の避難など災害時の対応に不安を抱えている	子どもから高齢者まで安全安心に住み続けられるまちをつくる	防災(安全な道、場所のウォークラリー等の実施)
買い物や通院、通学などの交通の便が悪い	高齢者から子どもまで三重地区内で必要な移動ができるよう体制づくりを検討	移動支援・買い物支援・コミュニティバスの検討

畝刈小学校区まちづくり協議会

(メール: azekarimatikyou2024@gmail.com)

課題	ねらい	事業名
住民同士の交流ができていない	伝統文化を取り入れ地域活性化に繋げる場を創出する	さくら祭りin畝刈
公園に雑草が茂っている/通学路が狭く草木が茂って通りにくい	住む人、訪れる人が気持ちよく快適で安全だと感じられる街にする	きれいな街づくり事業(公園や通学路の草払い等)
独居高齢者が多くなり災害時の避難等に不安がある	避難訓練、防災訓練を行い、つながりの意識を持つ	防災訓練 (防災フェスティバルの実施)
不審者の出没/通学路の信号のない横断歩道の通行が不安	子ども110番の家の活用による防犯対策/交通事故防止の啓発	交通安全・防犯対策 (飛び出し坊やと横断旗設置等)

鳴見台小学校区コミュニティ協議会

(メール: narumichikomi1400@gmail.com)

課題	ねらい	事業名
校区内に保育園・幼稚園など就学前の幼児が通う施設がない	就学前の親子、子ども同士の不安解消	もうすぐ1年生集まれ(親同士の懇談、子ども同士の交流)
共働き世帯が多く地域との繋がりが希薄	若い世代が安心して子育てできるよう地域が連携して支援に取り組む	地域子育て憲章(登下校見守り支援などの企画実施)
世代間・地域間の交流が少ない	自治会が連携して子どもを巻き込んだ地域交流の活性化を図る	鳴小校区まつり
高齢者の災害発生時の避難などの対応が不安	体験や講話を通して住民の防災意識を高める	防犯対策事業(防災フェスタ等の実施)

子ども110番の家について

畷刈小学校区まちづくり協議会（入口初則会長）では、子ども達の安全を守る取り組みとして「子ども110番の家」周知に取り組んでいます。「子ども110番の家」とは、不審者に遭遇したり身の危険を感じた時に駆け込んできた子ども達の安全を確保する場所です。協議会では目印として新たなステッカーを協力家庭や店舗へ配布、一覧表入りのマップを作成し、学校を通して子どもや地域住民への周知を行いました。

【お問い合わせ先】

畷刈小学校区まちづくり協議会

E-mail : azekarimatikyoku2024@gmail.com



お米作りがスタート！美味しく育ちますように！！

三重小学校区まちづくり協議会（小里史規会長）では、次世代を担う子ども達に農業の大切さや楽しさを伝えるとともに、農業に携わるきっかけとなるよう、コメ作りとイモ作りを行っています。5月7日はコメ作りのスタートとして、三重小学校6年生児童が籾まき作業を体験。地域の方々の温かいご指導を受けながら、育苗箱に籾を隙間なく広げ、ふかふかの土で覆いました。元気いっぱい発芽したら、生育の様子を観察する機会も設けられます。

6月には田植えが予定されており、地域の方々も一生懸命に準備されています。

毎年、農業体験を通して子ども達が健やかにたくましく、心豊かに成長している様子が見られます。今年もたくさんの笑顔が見られることを期待しています。豊作が楽しみです。



グラウンドー帯がきれいになりました！！

5月15日、三重地区老人クラブ連合会40名の方々が三重みなと公園グラウンドの草刈り作業や清掃を行いました。グラウンドゴルフ大会の準備の一環として実施したもので、皆様の丁寧な作業のおかげで一帯が見違えるほどきれいになりました。この日はとても暑く、こまめな水分補給や休憩をはさみながら約2時間の作業でした。皆様たいへんお疲れ様でした。

※写真はいずれも睦会（角老人クラブ） 柏木カツヨ会長より提供



野々岳山頂・山道を地域の力で整備

標高325mの野々岳。その頂には狼煙場の遺構があり、三重地区の歴史の研究・保存と普及啓発に取り組む「三重地区史談会（森口純一会長）」が説明板を設置しています。

「野々岳は、寛永15（1638）年、島原一揆平定の後、松平伊豆守の命令によって三重獄（現 狼煙岳）に烽火場を構え、足軽三人ずつに守らせた。」〔中略〕三重地区には、ここ野々岳（三重獄）と御岳（三重田）と、狼煙の遺跡が存在する。」

このように、同遺構は三重地区の歴史的背景の一端を窺い知ることのできる場所で、東に大村湾、西に遠く五島列島が佇む角力灘を広く見渡すことができます。山頂部は傾斜が緩やかな部分が意外に広いのが印象的でそこに複数の巨石が高く積み上がっていたり、二階建てほどの高さの単独の巨石が屹立していたりと、とてもアスレチック感のある場所で、同会員の方々は子供の頃、毎年学校遠足で訪れて遊んだ、巨石を上り下りしたり眺めを楽しんだ、と思い出話を花を咲かせていました。

最近では、多くの樹木が高々と密集し見晴らしもほとんど遮られていたのを、地元日田尾自治会の方々が見事な手腕とチームパワーで広く伐開。また、5月10日には史談会が山道を覆う枝を払うとともに、狼煙場跡の現況を確認していました。整備に携わられた皆様方、たいへんお疲れさまでした。



ペーロンの季節到来！

5月5日、三重ペーロンチームの舟下ろしが行われ、海上での練習が本格的にスタートしました。昨年11月から活動を開始し、今年こそはと長崎ペーロン選手権大会での優勝を目指し日々トレーニングに励んでいます。舟下ろしには地域の方々も多数集まり激励。

そして、毎年恒例となっている節句祝いにもたくさんの家族が参加し、喜びの音が上がっていました。かっこいい衣装を身に着けた赤ちゃんがご家族と一緒にペーロンに乗り、赤岳に見守られながら三重港内を周回。子ども達の健やかな成長を願う地域の方々の温かな気持ちが伝わってくる光景が広がりました。

体験ペーロンではたくさんの小学生が参加し、慣れた手つきと息の合った「よ〜いしょ〜」の掛け声が印象的でした。小さな頃からペーロンに親しんでいる子どもたちも多く、将来有望です。

ペーロンの練習はこれから佳境に入ります。地域の期待を背負って頑張る皆さんを応援しています。



美しい海を未来へ引き継ぐ！ 子ども達が頑張っています！！

三重地域は角力灘に面しており、昔から漁業が盛んなところです。しかし、海岸には風と海流に乗ってごみが流れ着いており、特に発泡スチロールやペットボトルなどのプラスチックごみが後を絶ちません。多くの団体や個人の方々が継続的に海岸清掃活動をしてくださっていますが、依然として終わりが見えない状況です。

三重町のむつみ学童クラブ（長殿千晶代表）は長年にわたり定期的に海岸清掃を実施しており、5月16日も子どもたち18人が参加して畦浜でゴミ拾いを行いました。畦浜は美しい砂浜と西大瀬や神楽島の風景が印象的なところですが、岩の隙間や草木の陰には無数のごみが散乱しています。子ども達は大きな岩をよじ登ったり、大きなゴミ袋を抱えて歩きながら次々にごみを拾い、一時間程でゴミ袋は満タンになりました。暑い中での作業でしたが、子ども達はがんばってペットボトルや発泡スチロールのほか空き缶などのごみを拾い集めました。1年生がケガしないように上級生が優しく声掛けをしながら見守る様子は心温まるものでした。ゴミ拾いの後はみんなで仲良く磯遊び。砂の中から貝やカニを見つけて大喜び。子ども達は海岸清掃という貴重な体験の中で、ゴミ問題と向き合うだけでなく、海に親しむ機会を得て心豊かに成長していることが感じられます。

海岸には海外から漂着したごみ以外にも、内陸から強風で吹き飛ばされて山や川の水の流れで漂着したようなものも多数あります。畦浜にはプラスチックごみも多く、特に粉々になった発泡スチロールの回収は困難を極めています。小さな破片となったプラスチック（マイクロプラスチック）が海の生き物に及ぼす影響は甚大で深刻な問題となっています。

海洋ゴミ問題を解決するためには、ごみの削減と流出防止、ポイ捨ての防止、海岸清掃が重要と言われています。美しい海を次世代へ引き継ぎ共生し続けるために、今できることがたくさんあります。まずは身近なところから、ごみの削減と流出防止に取り組みましょう。



三重地域センター庁舎の老朽化について

三重地域センター庁舎は、長崎市公共施設保全計画において既存施設の目標使用年数が65年とされるなか、1967年9月の建築から約59年が経過し老朽化が進んでおり、現地で建て替えるのか、他の場所に移転するのか検討を進める必要があります。

庁舎のあり方について、今後三重地区連合自治会にご相談させていただきながら、地域のご意見をお聞きしていきます。

なお、三重地区公民館は建築から54年が経過しておりますが、建て替え等まで11年の年数がありますので、別に検討していきます。



1967年竣工（築59年）

地域情報
募集中！

SNSでも
地域情報を
発信中！



ホームページ



X



Facebook

そとめ神浦川河川公園の遊具がリニューアルしました！

この春、河川公園の遊具がリニューアルしました！ご家族でぜひ遊びに来てください！！

【お問い合わせ先】

北総合事務所地域整備課
(Tel.095-814-3410)

